

訂正のお願い(Ⅰ 政治経済/倫理)

- 法律等の改正にともない、以下のように訂正をお願いします。

p12 衆議院の定数 (訂正前) 475 名 (訂正) 465 名

p23

地方議会議員と地方公共団体の長の選挙権 (訂正前) 20 歳以上 (訂正) 18 歳以上

p29

衆議院議員選挙

(訂正前) 295 名は小選挙区選出、180 名は全国を 11 のブロックに分けた比例代表区から選出

(訂正) 289 名は小選挙区選出、176 名は全国を 11 のブロックに分けた比例代表区から選出

解答解説書 p12 [37] 選択肢 3 の解説

(訂正前) 参議院は都道府県を単位とする選挙区と比例代表区が併用されているが、選挙区の議員定数は 1 ～ 5 名である。

(訂正) 参議院は原則都道府県を単位とする選挙区と比例代表区が併用されており、選挙区の議員定数は 2 ～ 12 名である。(選挙のたびに半数の 1 ～ 6 名を改選)

- 公定歩合の呼称について。

p63、67 および解答・解説書 p12

2006 年より日銀は公定歩合を「基準割引率及び基準貸付利率」と呼ぶこととなった。

- 国債依存度の訂正と更新をお願いします。

解答解説書 p12 [68] 選択肢 5 の解説

(訂正前) …2009 年度は国債依存度が 50 % を超えた。近年の国債依存度は、40 % 前後で推移している。

(訂正) …2010 年度は国債依存度が戦後最高の 48 % となった。以降、国債依存度は低下傾向にあり、近年は 35 % 前後で推移している。

訂正のお願い(Ⅳ 地理)

- 各種統計の更新にともない訂正をお願いします (国名は統計の上位順に列記)。

更新した統計は『2018/19 世界国勢図会』、『2018/19 日本国勢図会』、『2019 データブック オブザワールド』によるものです。

p190

・米 (訂正前) 生産国＝中国・インド・インドネシア・ベトナム
輸入国＝タイ・ベトナム・インド・パキスタン

(訂正) 生産国＝中国・インド・インドネシア・バングラデシュ
輸入国＝インド・タイ・ベトナム・パキスタン

・小麦 (訂正前) 生産国＝中国・インド・アメリカ合衆国・フランス
輸出国＝アメリカ合衆国・フランス・オーストラリア

(訂正) 生産国＝中国・インド・ロシア・アメリカ合衆国
輸出国＝アメリカ合衆国・カナダ・フランス

- ・茶 (訂正前)生産国＝中国・インド・ケニア・スリランカ
(訂正)生産国＝中国・ケニア・スリランカ・インド
- ・コーヒー (訂正前)生産国＝ブラジル・ベトナム・インドネシア
(訂正)生産国＝ブラジル・ベトナム・コロンビア
- ・カカオ (訂正前)生産国＝コートジボワール・インドネシア・ガーナ
(訂正)生産国＝コートジボワール・ガーナ・ナイジェリア

p200

- ・(訂正前)西アジアに埋蔵量の3分の2が集中
(訂正)西アジアに埋蔵量の30%が集中
- ・石炭
主な産出国
(訂正前)中国(タートン炭田)・アメリカ合衆国(アパラチア炭田)・インド(ダモダル炭田)・南アフリカ共和国・オーストラリア・ロシア・ポーランド(シロンスク炭田)
(訂正)中国・インド・インドネシア
- ・石油
主な産出国
(訂正前)サウジアラビア(最大の輸出国)・ロシア(チュメニ油田)・アメリカ合衆国(最大の輸入国)・イラン・中国(ターチン油田)・ノルウェー(北海油田)・メキシコ
(訂正)ロシア・サウジアラビア(最大の輸出国)・アメリカ(最大の輸入国)
- ・天然ガス
主な産出国
(訂正前)ロシア・アメリカ・カタール・カナダ・イラン
(訂正)アメリカ・ロシア・イラン・カナダ・カタール
日本の輸入先
(訂正前)1) オーストラリア 2) カタール 3) マレーシア
(訂正)1) オーストラリア 2) マレーシア 3) カタール
- ・ウラン
主な産出国
(訂正前)カザフスタン・カナダ・オーストラリア・ニジェール
(訂正)カザフスタン・カナダ・オーストラリア・ナミビア
- ・鉄鉱石
生産国
(訂正前)中国・オーストラリア・ブラジル・インド・ロシア
(訂正)オーストラリア・ブラジル・中国・インド・ロシア
日本の輸入先
(訂正前)1) オーストラリア 2) ブラジル 3) 南アフリカ共和国
(訂正)1) オーストラリア 2) ブラジル 3) カナダ

- ・すず鉱
生産国
(訂正前) 中国・インドネシア・ペルー・ポリビア
(訂正) 中国・インドネシア・ミャンマー・ブラジル
- ・ボーキサイト
生産国
(訂正前) オーストラリア・中国・ブラジル・インドネシア
(訂正) オーストラリア・中国・ブラジル・マレーシア
- ・ニッケル鉱
生産国
(訂正前) インドネシア・フィリピン・ロシア・カナダ
(訂正) フィリピン・ロシア・カナダ・オーストラリア
- ・銀鉱
生産国
(訂正前) メキシコ・中国・ペルー・オーストラリア
(訂正) メキシコ・ペルー・中国・オーストラリア
- ・金鉱
生産国
(訂正前) 中国・オーストラリア・アメリカ合衆国・ロシア
(訂正) 中国・オーストラリア・ロシア・アメリカ

p210

- ・人口
(訂正前) 世界の人口…総人口約 70 億人(2012 年)
(訂正) 世界の人口…総人口約 76 億人(2018 年)
(訂正前) 次いでアフリカに 15 %、ヨーロッパに 11 %、
(訂正) 次いでアフリカに 17 %、ヨーロッパに 10 %
- ・1 億以上の人口国
(訂正前) 10) 日本 11) メキシコ
(訂正) 10) メキシコ 11) 日本 12) エチオピア 13) フィリピン

p216

- ・大韓民国
(訂正前) 人口密度約 494 人/km² (訂正) 人口密度約 510 人/km²
- ・中華人民共和国
(訂正前) 人口約 13 億人→一人っ子政策で人口抑制
(訂正) 人口約 14.2 億人→一人っ子政策で人口抑制(2015 年に廃止決定)
- ・インド
(訂正前) 人口約 13 億人 (訂正) 人口約 13.5 億人

p217

・カナダ

(訂正前)人口密度 3 人/㎢ (訂正)人口密度 4 人/㎢

・アメリカ合衆国

(訂正前)50 州よりなり約 3 億人の人口 (訂正)50 州よりなり、約 3.3 億人の人口

●誤字の訂正を以下のようにお願いします。

p218 (訂正前)大平洋岸 (訂正)太平洋岸

●統計の改訂により、問題及び図表の差し替えをお願いします。

問題集 p192 [191] グラフの差し替え

	農林水産業就業人口		耕地面積(千ha)		穀物生産量(千t) (2016年)
	(千人) (2016年)	就業人口 に占める 割合(%)	(2016年)	国土面積 に占める 割合(%)	
A	140,244	18.4	135,000	14.1	580,898
B	780	2.9	194,465	35.3	54,655
C	214,960	43.4	169,463	51.6	294,712
D	4,823	6.7	124,722	7.3	117,750
E	2,561	1.7	154,863	15.7	475,984

解答解説書 p34 [191]

(訂正前) さらに A の方が農業就業人口が多く、穀物生産量も最も多いので A が中国である。

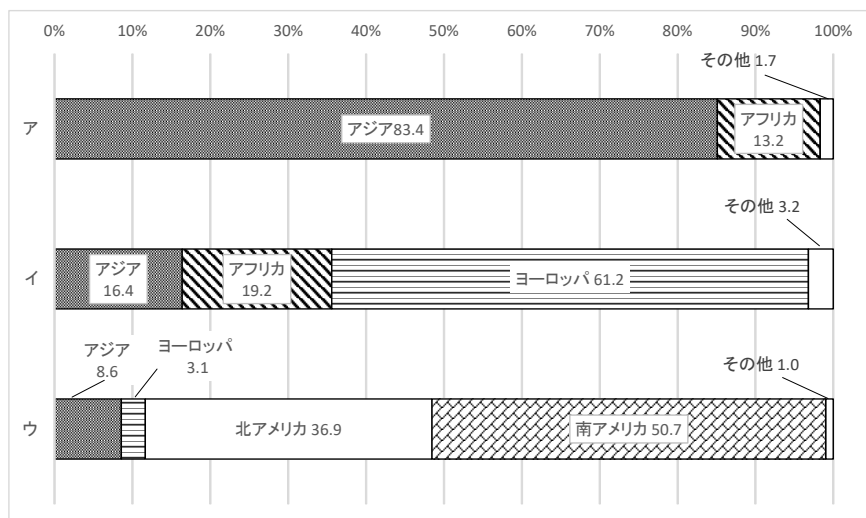
(訂正) さらに A の方が、穀物生産量が最も多いので A が中国である。

問題集 p195 [195] C の文章

(訂正前) 生産、輸出とも世界 1 位であるアメリカ合衆国では、

(訂正) 生産が世界 1 位であるアメリカ合衆国では、

問題集 p196 [196] グラフの差し替え



問題集 p198 [198]

(訂正前) 世界の漁業生産量は 2009 年現在で約 9,000 万 t であり、

(訂正) 世界の漁業生産量は 2016 年現在で約 9,200 万 t であり、

(訂正前) また、同年における世界の養殖業生産量は約 7,300 万 t で、漁業・養殖業の総生産量の約 45 %を占めている。

(訂正) また、同年における世界の養殖業生産量は約 11,000 万 t で、漁業・養殖業の総生産量の約 54 %を占めている。

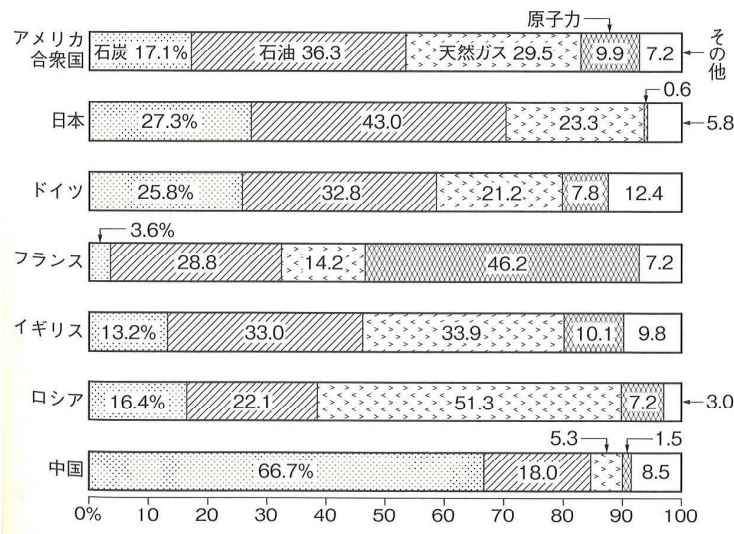
(訂正前) **A** は 1990 年代以降、養殖業生産量を伸ばし、2009 年現在、同国の漁業・養殖業生産量はともに世界一である。

(訂正) **A** は 1990 年代以降、養殖業生産量を伸ばし、2016 年現在、同国の漁業・養殖業生産量はともに世界一である。

(訂正前) 2009 年では **C** と並んで水産物の輸入額は世界有数の規模となっている。

(訂正) 2016 年では **C** に次いで水産物の輸入額は世界有数の規模となっている。

問題集 p199 グラフの差し替え

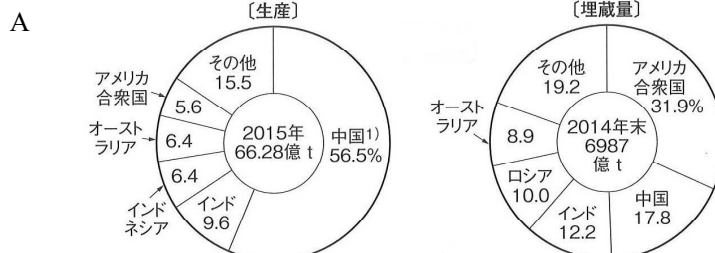


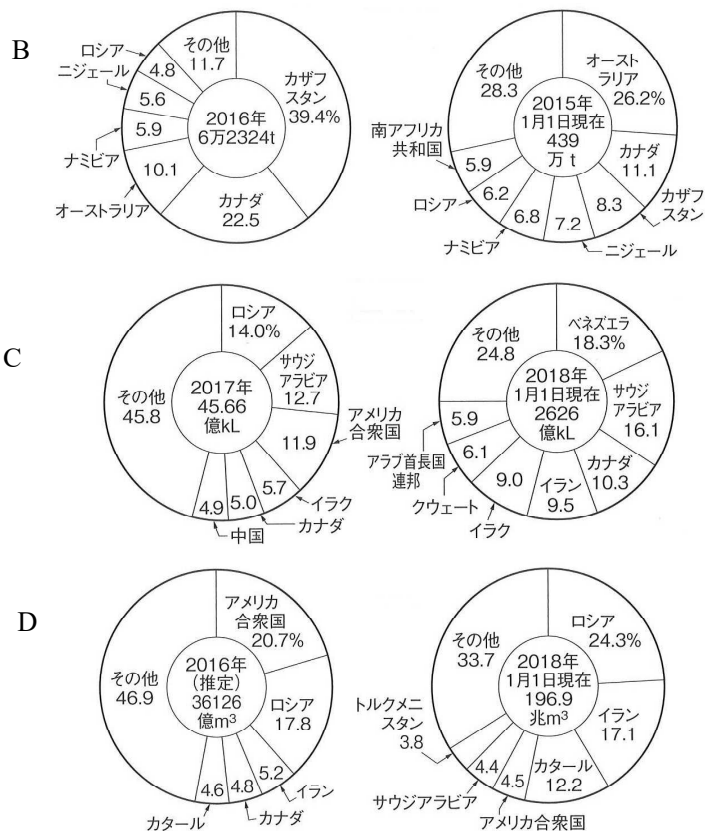
問題集 p204 [200] 表の差し替え

原油の消費量と自給率(2016年)

国名	消費量(10万t)	自給率(%)
アメリカ	7,444	75.2
A	4,947	40.4
インド	1,823	22.6
日本	1,501	0.3
B	1,345	409.2
韓国	941	0.7
C	922	3.9

問題集 p205 [201] グラフの差し替え





解答解説書 p36 [201]

(訂正前) Aは、中国が1位で、インド・南ア共和国があるので石炭である。

(訂正) Aは、中国が1位で、インド・インドネシアがあるので石炭である。

問題集 p206 [202] 表の差し替え

国	発電量 (億Kwh)	発電エネルギー源別割合(%)		
		水力	火力	原子力
A	10,242	9	89	1
B	3,734	57	23	15
C	5,685	10	7	77
D	1,394	62	32	3

注)「世界国勢図絵」による 2015年

解答解説書 p36 [202]

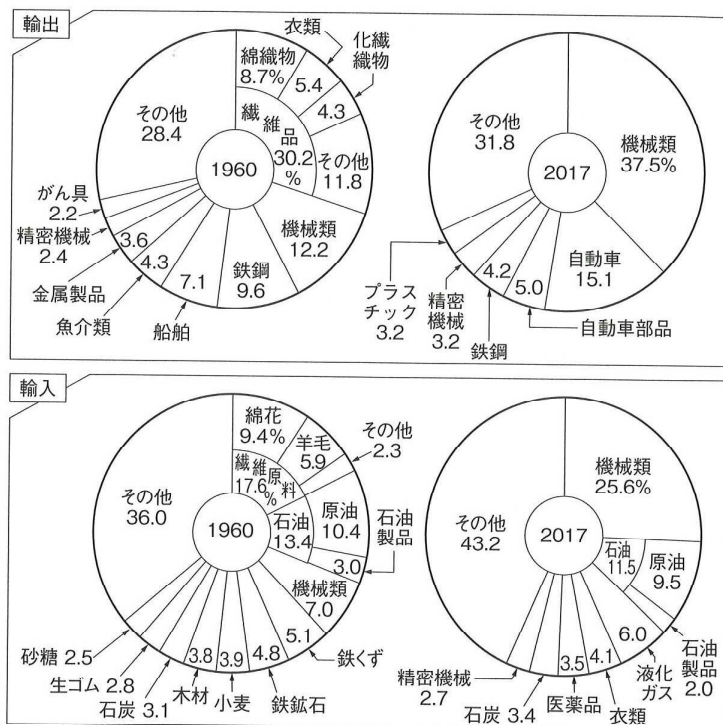
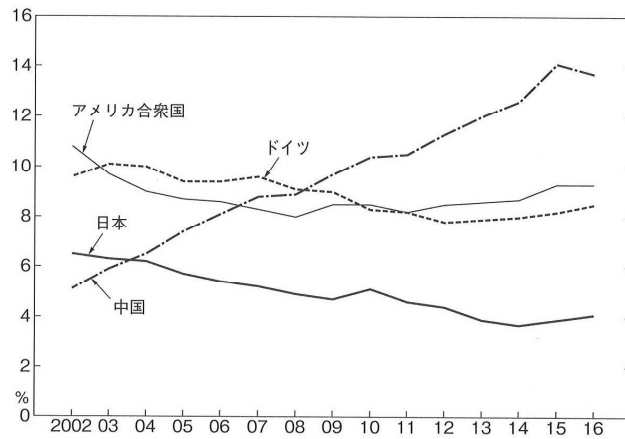
(訂正前) なかでも、ブラジルは水力発電の割合が70%を超えるので、Dがブラジル、

(訂正) なかでも、ブラジルは水力発電の割合が60%を超えるので、Dがブラジル、

問題集 p207 [203] グラフの差し替え

銀鉱 2.76万 t	メキシコ 21.4%	A 15.3%	中国 12.3%	B 5.7	その他
鉄鉱石 14.0億 t	B 34.7%	ブラジル 18.4%	中国 16.6%	インド 6.9	その他
ボーキサイト 2.99億 t	B 27.1%	中国 21.7%	ブラジル 12.4%	マレーシア 11.7%	その他
銅鉱 1910万 t	C 30.2%	中国 9.0%	A 8.9%	D 7.2	その他

問題集 p211 グラフの差し替え



解答解説書 p37 [207]

(訂正前) 3 わが国の都市人口率は約 66 %であり、東京都には総人口の約 10 %近くが住んでいる。

(訂正) 3 わが国の都市人口率は約 91 %であり、東京都には総人口の約 10 %近くが住んでいる。

問題集 p213 [208] 1 の文章

(訂正前) 2010 年現在 (訂正) 2016 年現在

解答解説書 p37 [208]

(訂正前) 正答 4 (訂正) 正答 1

2 の文章

(訂正前) 2050 年には 93 億人に達すると予測されている。

(訂正) 2050 年には 97 億人に達すると予測されている。

問題集 p214 [210] 表の差し替え

2013年	
機械類	25.6%
(B)	11.5
液化ガス	6.0
(C)	4.1
医薬品	3.5

解答解説書 p38 [211] 3 の文章

(訂正前) 総輸出額に占める割合は約 3 % と低い。

(訂正) 総輸出額に占める割合は約 2 % と低い。

問題集 p215 [212]

(訂正前) 2012 年現在、成田国際空港が輸入額、輸出額とも第 1 位を占めている。

(訂正) 2017 年現在、成田国際空港が輸入額、名古屋港が輸出額でそれぞれ第 1 位を占めている。

解答解説書 p39 [217] 2 の文章

(訂正前) その自給率は約 40 % である。 (訂正) その自給率は 58 % である。

問題集 p225 [219] B の文章

(訂正前) 特に羊毛の生産量・輸出量はともに世界最大である。

(訂正) 特に羊毛の輸出量は世界最大である。

問題集 p225 [220]

①問題文の訂正

(訂正前) なお、2012 年の実績値によったものである。

(訂正) なお、2016 年の実績値によったものである。

②表の差し替え

A	B	C	D
石 炭	機 械 類	自 動 車	鉄 鉱 石
パーム油	自 動 車	機 械 類	石 炭
機 械 類	船 舶	原 油	金(非貨幣用)
衣 類	石油製品	金(非貨幣用)	液化天然ガス
自 動 車	精密機械	航 空 機	肉 類

解答解説書 p39 [220]

(訂正前) A は石炭やパーム油のほか原油や天然ガスの産出が多いのでインドネシアである。

(訂正) A は石炭やパーム油の産出が多いのでインドネシアである。

問題集 p227 [223] A の文章

(訂正前) 人口は約 1.6 倍である。 (訂正) 人口は約 2.1 倍である。